



梅枝梅園貞氏

上

~13  
3414  
60

下



大御所の御  
傳大御所  
編年

升題曲

~13  
3414  
59





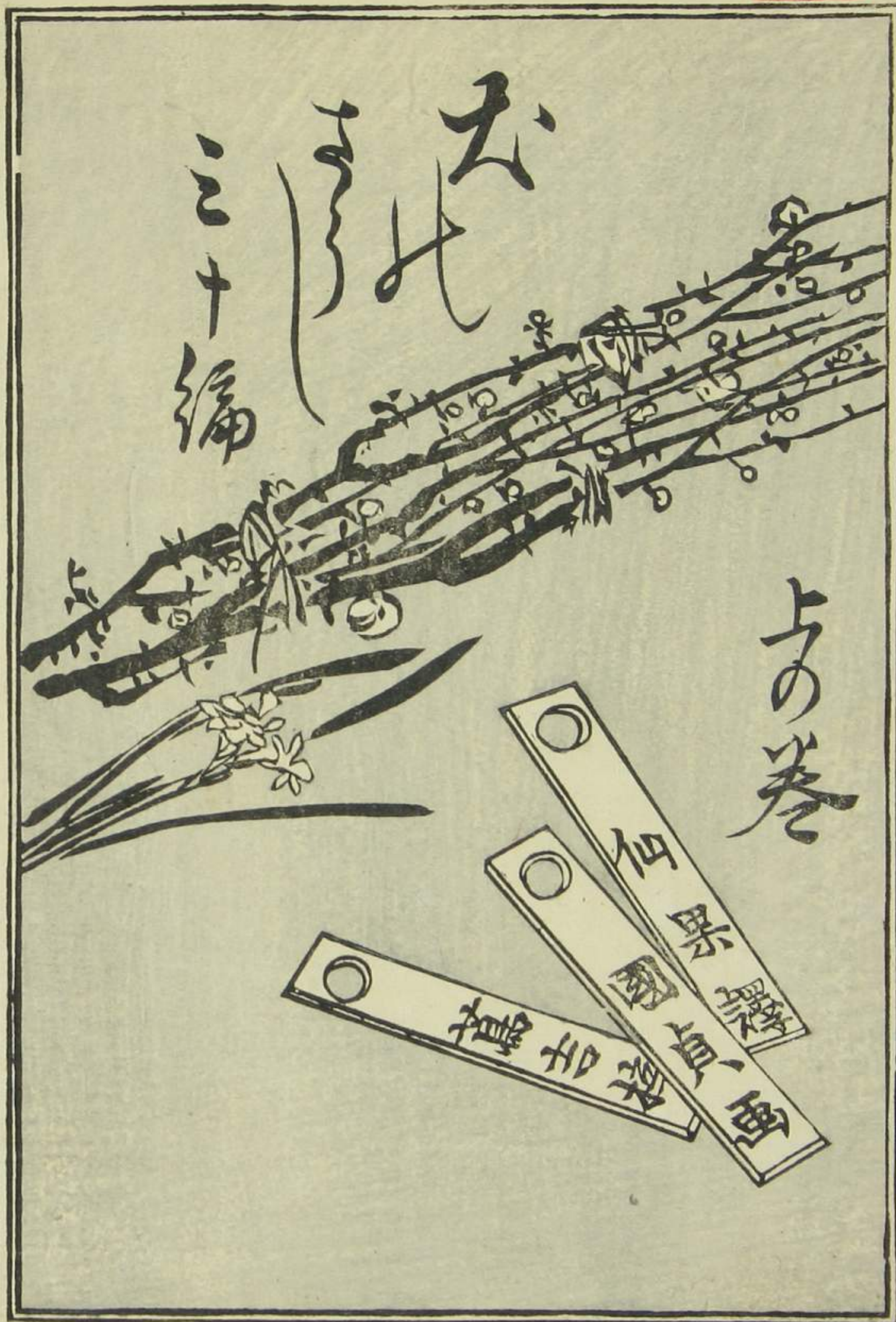
芝草仙果傳

傳大弁糸  
編子

上

升題曲

13  
3414  
59



犬  
三十編

上の巻

仙野園  
仙野園  
仙野園



仙野園

仙野園

雄畧天皇の十三年播磨國御井隈の人文石の小麻呂と云者國法  
小違ひ春日小野臣大樹小宅を圍すれ大馬の如き白狗小化ん  
累出づり事日本書紀小記にせしむ  
又異域朱休とりふ者の家の犬。我を歌と能を能ととりど我梅  
花を歌ふを聴け云々と歌ふひ一事述異記小載なり

嗚乎吾犬の草紙他の佳作を鈔録して自巨狗の心ありあまふ彼小麻呂の  
類れど不學文盲の我々風情が物の本かして作者交りまふ畜生ふて  
人語を発せる小似るべくやりの且あても笑され草と此と嘆ト  
て此を序とす

甲寅孟陬吉祥日



狗と山人



犬の三十編



操野  
萬年青



落  
餘之七  
有種

あまの  
あまの  
あまの

たもとの実  
史方







九  
三  
十  
三

七

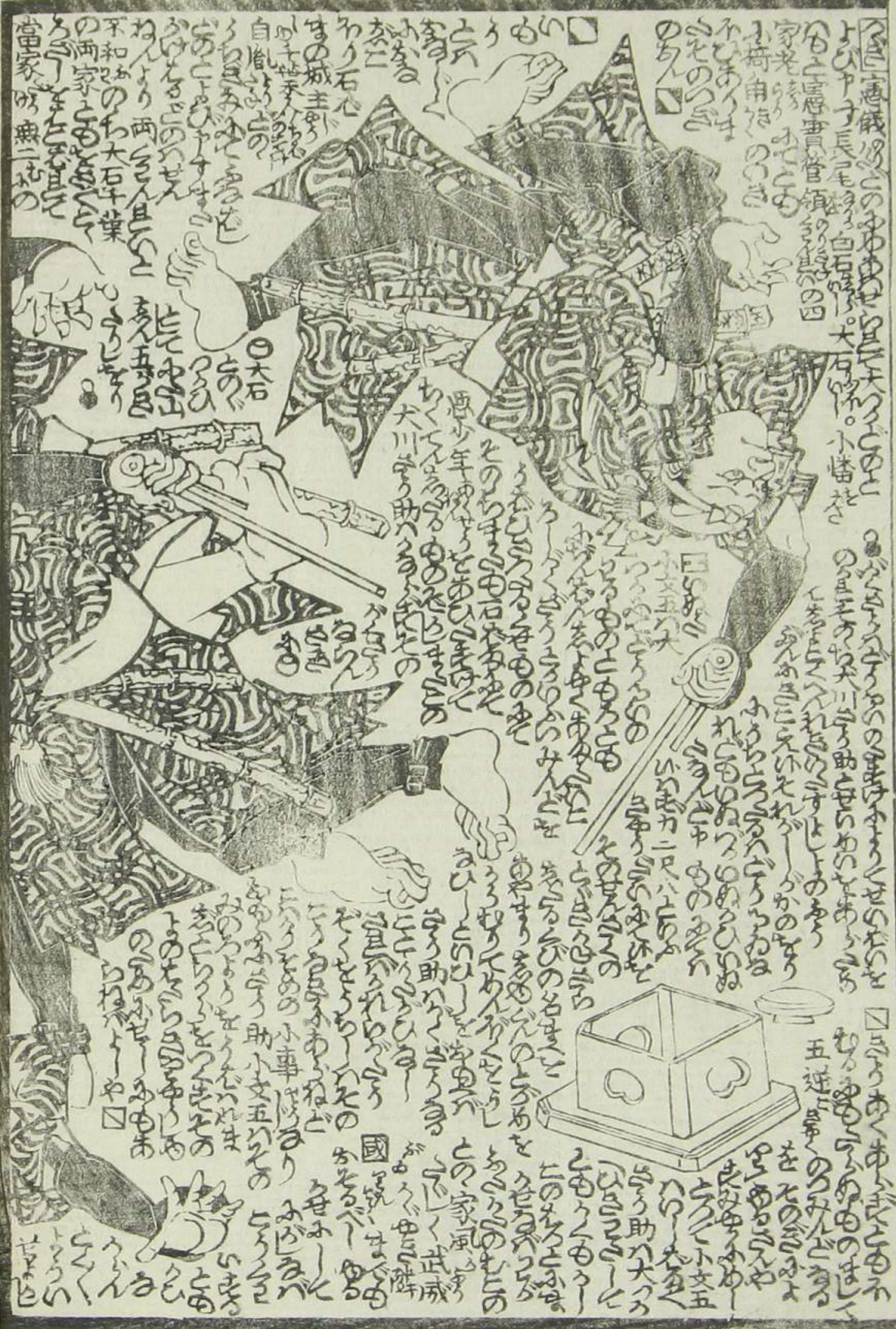














仙果鈔錄國貞画圖

本家 實母散

えんえんこ 中馬  
 南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝輔製  
 ね方実母さんよまやん 一切の物の中  
 向ふかへ引くくつ台台板おついでに用ひの筆紙よ

御免痴積湯 せんきのお糸

御用藥所 信州上田東山堂製

せんき  
 えんえんこ  
 おついでに用ひの筆紙よ  
 一色 四十八羽  
 一色 九十四羽

大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚巻

府郷御江戸繪圖

同新 六枚巻

おれらん 取次所  
 せんきの茶

繪草紙問屋

江戸南條三所二丁目  
 葛屋吉藏





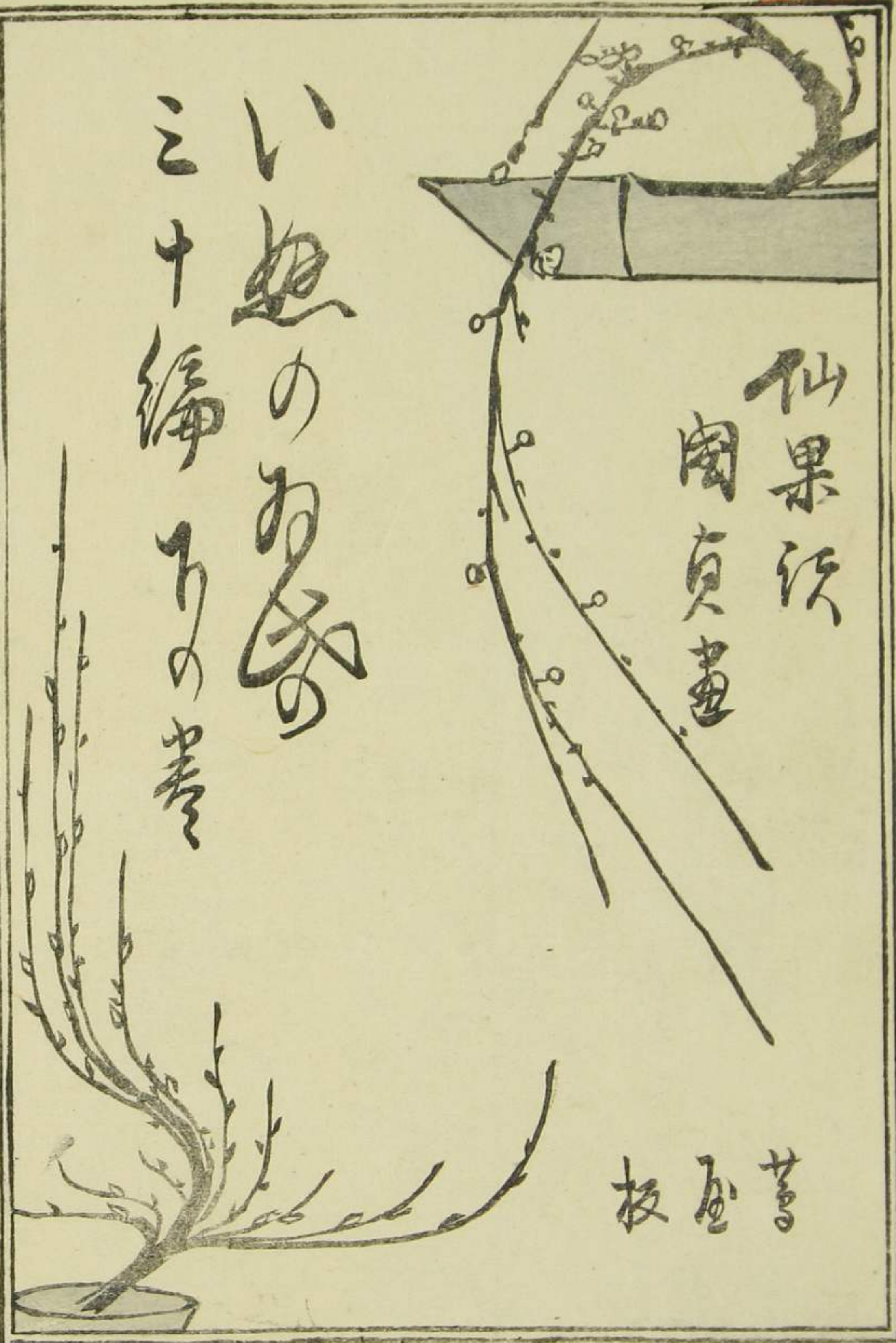
梅枝梅園

下

下

13  
3414  
60

仙果伝  
岡貞蓮



い娘のお母の  
こし編りの巻

板屋草



い娘のお母の  
こし編りの巻  
仙果伝  
岡貞蓮  
板屋草



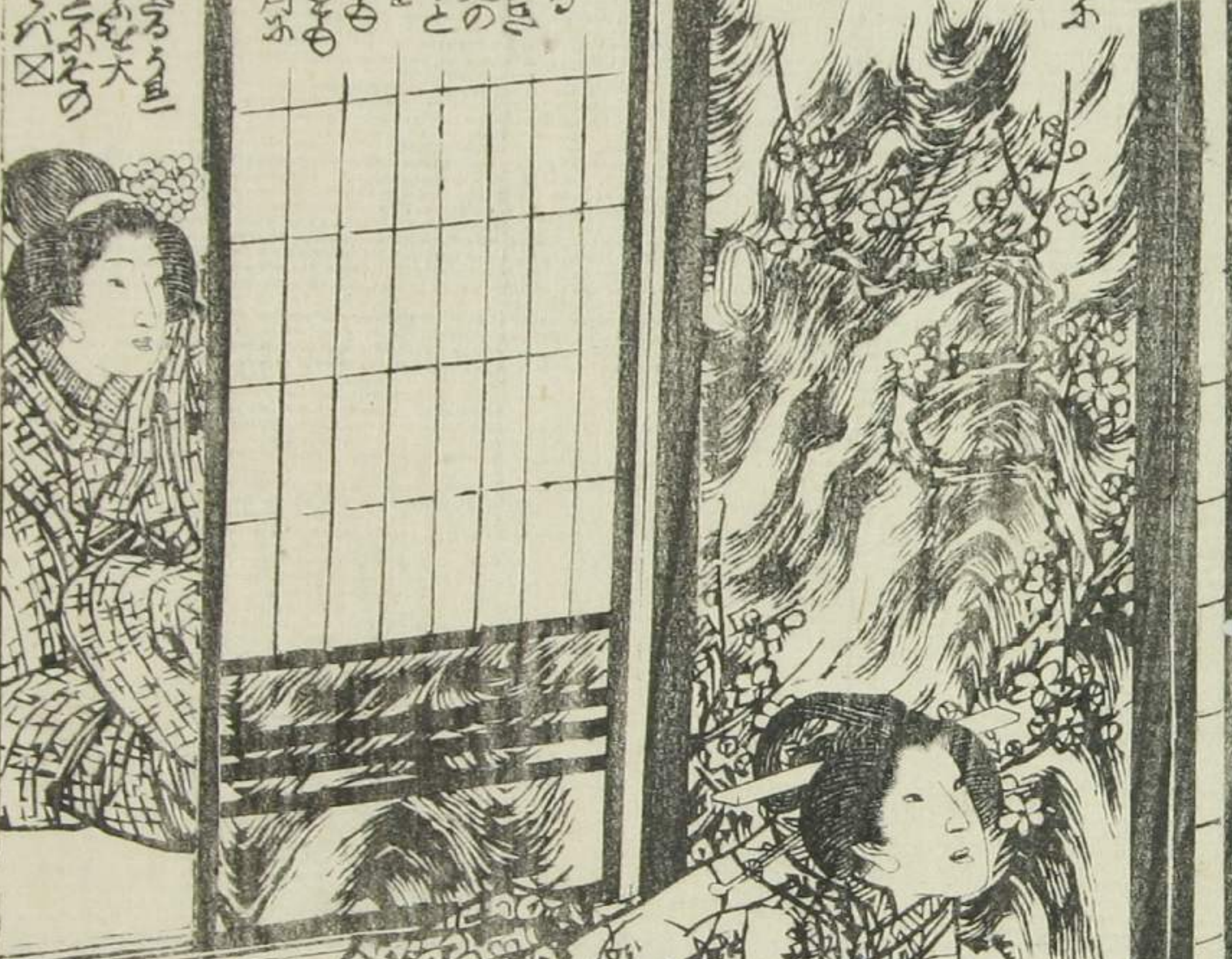


Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page, likely serving as a title or introductory notes for the scene below.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page, possibly providing commentary or a script for the performance.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page, likely serving as a title or introductory notes for the scene below.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the left page, possibly providing commentary or a script for the scene.

ついでに... 大の三十... 二カ八...



女子... 大の三十... 大の三十... 大の三十...



大の三十... 大の三十... 大の三十... 大の三十...

Vertical Japanese text at the top of the right page, including the title '九の三十一'.



Vertical Japanese text at the bottom of the right page.

Vertical Japanese text at the top of the left page.



Vertical Japanese text at the bottom of the left page.

此の物語は、昔の事だ。ある日、ある村に、  
 大いなる飢饉が起つた。人々は皆、餓死して  
 しまった。村に、一人の老翁が居た。彼は、  
 村の長老で、皆を導く事になっていた。彼は、  
 村の奥に、ある洞窟を見つけた。洞窟の中には、  
 金と銀の財宝が、山積みになっていた。老翁は、  
 これを皆に分けて、飢饉を救ふ事にした。



老翁は、皆を導く事になっていた。彼は、  
 村の奥に、ある洞窟を見つけた。洞窟の中には、  
 金と銀の財宝が、山積みになっていた。老翁は、  
 これを皆に分けて、飢饉を救ふ事にした。

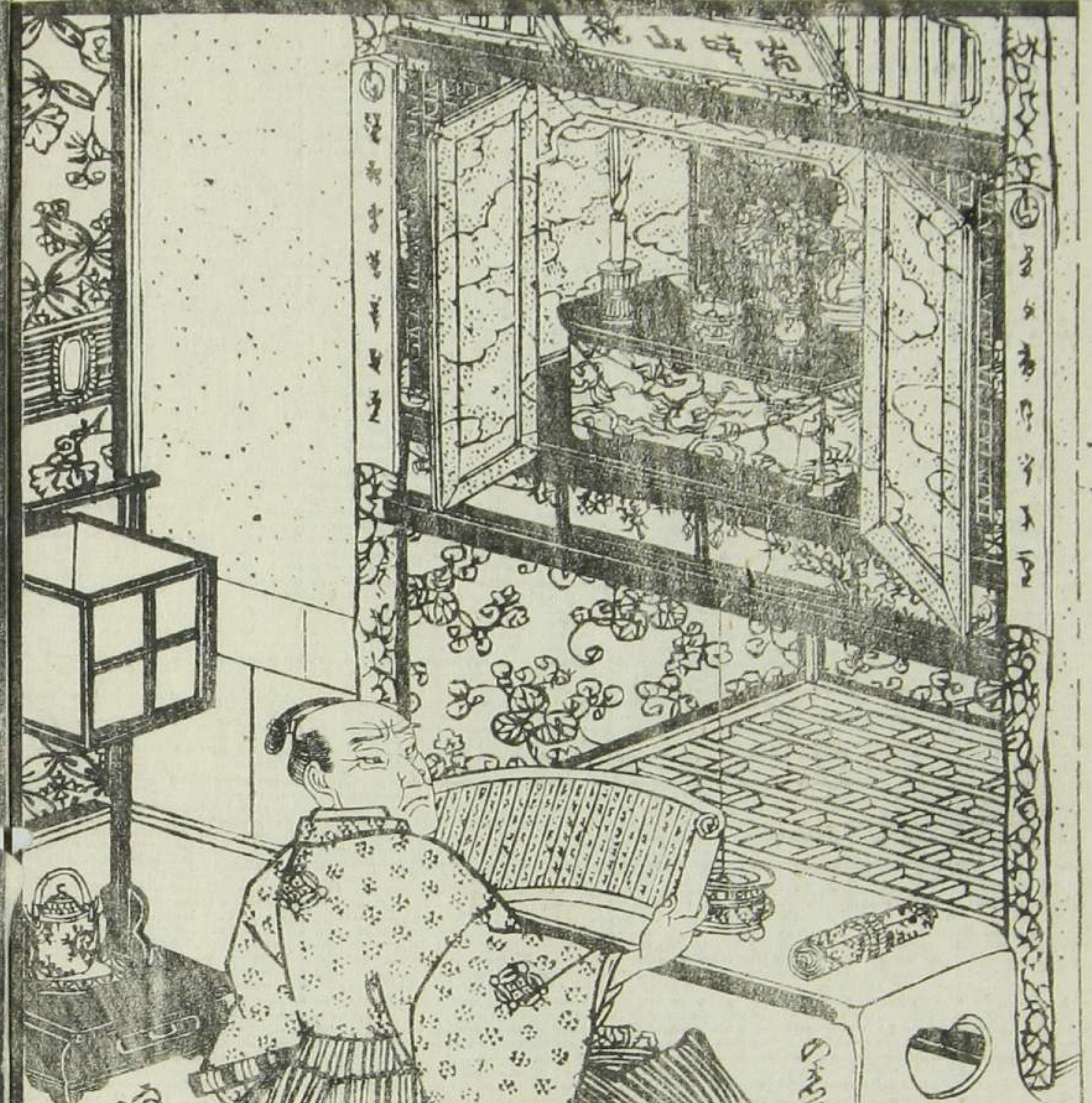
老翁は、皆を導く事になっていた。彼は、  
 村の奥に、ある洞窟を見つけた。洞窟の中には、  
 金と銀の財宝が、山積みになっていた。老翁は、  
 これを皆に分けて、飢饉を救ふ事にした。



老翁は、皆を導く事になっていた。彼は、  
 村の奥に、ある洞窟を見つけた。洞窟の中には、  
 金と銀の財宝が、山積みになっていた。老翁は、  
 これを皆に分けて、飢饉を救ふ事にした。



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script, located below the illustration of the two women.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a play script, located below the illustration of the man reading.

Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the left margin of the second page.

Vertical text on the right margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.



Handwritten Japanese text surrounding the illustration on the left page, including vertical columns of text and smaller annotations near the figures and objects.

Handwritten Japanese text surrounding the illustration on the right page, including vertical columns of text and smaller annotations near the figures and objects.











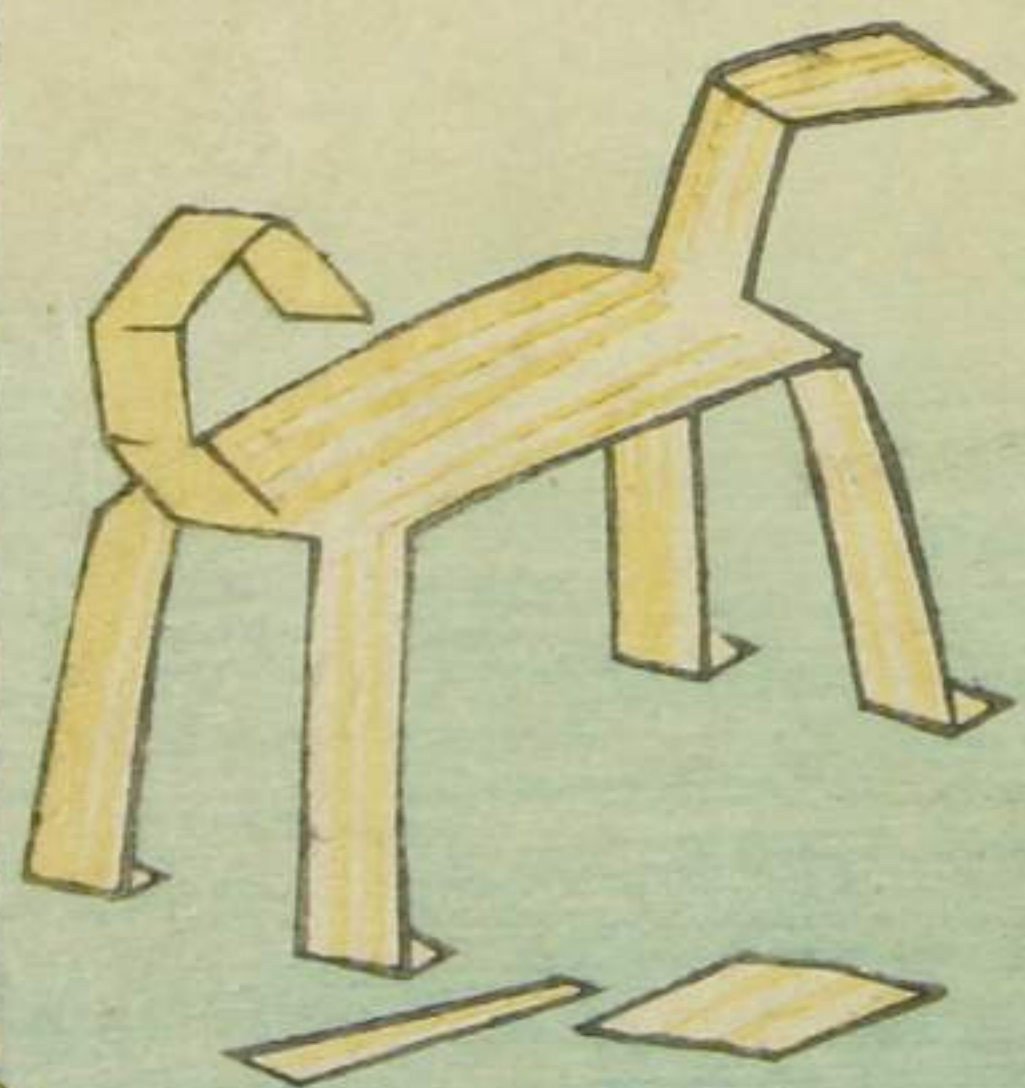
大之雙  
編 三十



五  
子



紅英堂持



仙是  
國真  
虫

